

地御前大好き♥♥

私は地御前に住んで35年。仕事で住み始め、結婚も子育てもずっとここ。転勤族の父とともに、小学校だけで4つも変わった私にとって、同じ場所に住み続けた私の子どもたちがうらやましい。

いつだったか車で帰っている途中に娘が窓からの風に「廿日市の匂いだ」といったことがあった。

子どもたちは私より地御前のことに詳しい。お化け森？どこだ？

秘密基地は代々同じようなところに作るらしい。中学生になつた娘が友人とかつての秘密基地を尋ねると、現役の小學生たちがいて、もう自分は小学生じゃないんだと思つたとか。息子が木から落ちた日、私は普段のお風呂掃除をさせていた。痛かつただろうに、木登りというわんぱくをして悪いことをしたと思ひ、黙って掃除した息子。友人の子が心配して電

話をかけてきてくれて発覚。今思えば思い出だけど、子育て中は色々あった。4人の子もみんな成人し、私達夫婦の血をひいてかみんなよく呑む。なつかしい子どもの頃の話をつまみにして。我が家は地城が育ててくれた。本当にいい町だ。これからもここでしつかり年を重ねて人生を終えたい！まだまだ50代折り返しかな。地御前大好き♥♥ M.S

初心忘るべからず (結婚の1年)

長男が結婚をする。お相手は2つ年下のとても気立ての良い娘さんだ。既に少し前に息子は彼女のご両親にお会いして結婚の承諾を頂いたとの事。我が家にも2人で来てくれた。息子には久々に会う機会ということもあり、私の母や弟夫婦も集つて、何と6時間も話しに花を咲かせてしまった。

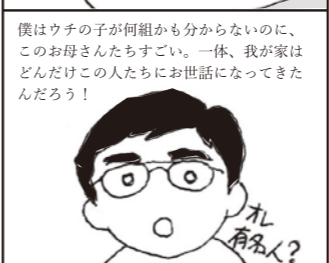
皆んなでいろんなことを話したが、息子が彼女のご両親に挨拶に何つた時は、随分と緊張をしたという話を聞いた。

擲に何つた時は、随分と緊張をしたという話を聞いた。

私も30年近く前、家内の両親に初めて挨拶をした時のことを思い出す。出迎えるために宇品港に向かう車中、緊張していた私。義父さんはどんな人か家内に尋ねると、義父は、かつて中学の生徒指導を担当して「鬼の明神(家内の旧姓)」と恐れられていたと教えてくれた。会えばそんな印象とは程遠い義父だったが、今考えても何故そのタイミングでそんな話を私にしたのか、今でも家内の天然ぶりに笑つてしまう。家内なりに緊張をしていたのだろう。

初顔合わせでは、家内と家内の両親との互いの信頼に根ざした親子関係が強く心に残つた。どこのどんな若僧かも知れない初対面の私に対して、別れ際に義父は「娘をよろしくお願いします」と言つて下さつた。その一言に、いかに義父が娘のことを信頼しているかを感じた。それは決して忘れ

「子育ては親だけではできない親だけで子育てしていない」



小学校=公助 PTA=共助

た。息子が彼女のご両親に挨拶に何つた時は、随分と緊張をしたという話を聞いた。



「母の桜が散った夜」舞台稽古の様子

地御前ドラマ

実母と娘のブルース

40歳で長女を出産、その後一年足らずで次女を出産。高齢出産と年子の育児に奮闘するおばさんが、10年後にはまさかこんな事をしているとは、その時は知る由もありませんでした。私は、中学3年生の秋に広島市内からこの地御前に引越してきました。それから37年間、ずっと住んでおります。

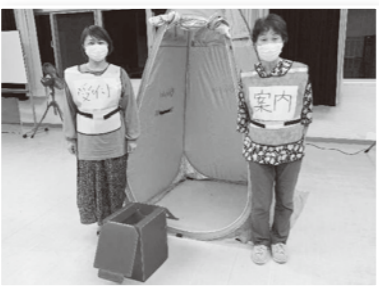
遅めの結婚と出産。今思えば早く産んどきやよかつたと思悔する時もあるけれど、色々な経験をしながらこそ落ち着いて育児ができてよかつたと思う時もあります。私の事はそのくらいにして...

さて、今回なぜこのような執筆をしようと思ったかと言

資源ごみ回収にご協力を

お願いいたします。自主防災会

各町内会の資源ごみ回収による収益を元に、自主防災会が運営されていますが、この度、自主防災会で災害時に役立つ簡易トイレ、トイレ用簡易テナント・処理薬剤のセットを3セット購入しました。併せて避難所運営の際に役立つジャケツトも購入しました。今市公園の防災倉庫に保管されます。



簡易トイレ(手前)とトイレ用簡易テナント(奥) テントは下水マンホールトイレにも使用可

昨年7月、災害時の避難所運営をグループ別にシミュレートするゲーム形式の訓練(H・U・G)を行いました。部屋割り、仮設トイレ、炊き出しや食料配給場所、生活必需品受け渡し管理などさまざまな要素が実際の避難所運営に必要となります。自主防災会では、いざという時のための備えとして、これからもこういった整備を整えて行く予定です。今は、実際

の避難所となる野坂中学校のレイアウトを元に、より現実的なH・U・Gを行うことを鋭意準備中です。去る7月6日、7日には大雨警報に伴って警戒レベル3、レベル4と相次いで警報が出されました。警戒レベルに応じて市民センターが、引き続き地御前小学校が避難場所として開設されました。ご近所への声掛けを促す緊急放送もありましたが、実際に声掛けをすることにはかなりのためらいを感じます。ではそんな時に実際に玄関ベルを鳴らしに行ける相手は誰なのかと考えると、普段から玄関先で気兼ねなく立ち話したり、ちょっとしたおすそ分けのやり取りをしているお宅ではないでしょうか。避難所の運営も、各機能が如何に合理的に運営されているかよりも、どれだけ普段から顔見知りでお互いのことを思いやる関係があるか、そういう人間関係の集団であるかどうかということが避難所の居心地に遥かに貢献するものだと思います。コロナ禍で今年は地区運動会も中止になりましたが、実はそのような通常の活動が最も効果的に非常時の行動や安全安心に貢献しているのです。

いますと、私の長女は、たぶん地御前小学校ではこの子だけではないかと思いますが、実は芸能活動をしております。(ありがたい事に、現在は全国誌の読者モデルとして掲載して頂き、また芸能事務所に入り、舞台公演の子役としても務めさせて頂いております。)



Japan Collectionでのステージ姿(神戸にて)

また当初は芸能活動に不可欠なSNSで、娘の近況報告の投稿をスタートさせたのですが、応援してくださる方もたくさんいてくださる中、「何がしたいん？」親のエゴでやらせとる」というお声もあり、複雑な気持ちになることもあります。

娘が芸能活動を始めたこの2年間は、私たち親子そして家族にとつてたいへん貴重な経験を、親子で成長できたとても中身の濃い2年間でした。まだまだこれから色々な経験をしていくと思ひます。

娘の舞台を見にきてくださった広報事業部の知人から「じいちゃんひろば」に奮闘記を是非投稿して欲しいというお話しがあった時、微力ながら他の方にとって親子関係の何かの

吾輩はトイレ奉行

地御前神社前のトイレ奉行(自称)を拝命して3ヶ月になる。

吾輩は、地御前郷土文化保存会のメンバーの一人である。文化保存会とトイレがどのような関係にあるのかは分からない。古くは、原野での糞尿処理から始まり、汲み取り式・水洗式へと、トイレ文化が発展してきたことを考えると、文化保存会がトイレ奉行の役目を担つても不自然ではない。

余談になるが、現在の日本のトイレは最も先進的で、ウォシュレットも珍しくない。国によつてはまだまだに川や原野で用を足し、排泄後の処理は渡してある荒縄で拭く国もあるらしい。(吾輩の田舎では、「みっちゃん道端ウソコして、紙が無いので手で拭いて、もつたいないのでなめちゃった」という言葉遊びがあったことを思い出す)本題に戻る。



有栖川より見る地御前神社付近。左が地御前神社、右が新しい公衆トイレ。8月7日に引渡しが行われ、使用が開始された。秋は落ち葉掃除もひと仕事だ。

トイレの神様という歌があるのをご存じだろうか??

歌詞には、「トイレ掃除が苦手な私におおあちゃんがこう言った」「トイレにはきれいな神さまがいる」とある。

賢明なる皆さんはご存じだと思ひ、厳島神社は女神『市杵島姫命(いちきしまひめのみこと)』が主神である。外宮であった地御前神社も同じである。その神聖な場所にできた立派なトイレ。恭しく使用しなさいとは言われないが、綺麗に使用していただくのが有難い。これは、トイレ奉行を仰せつかった吾輩の切なる願いである。吾輩は、これからも、歌にあるような神さま、それも、『市杵島姫命』と言う飛び切りの女神さまに会えるまで、トイレ奉行としてお勤めしたいと思ひている。 M.S